

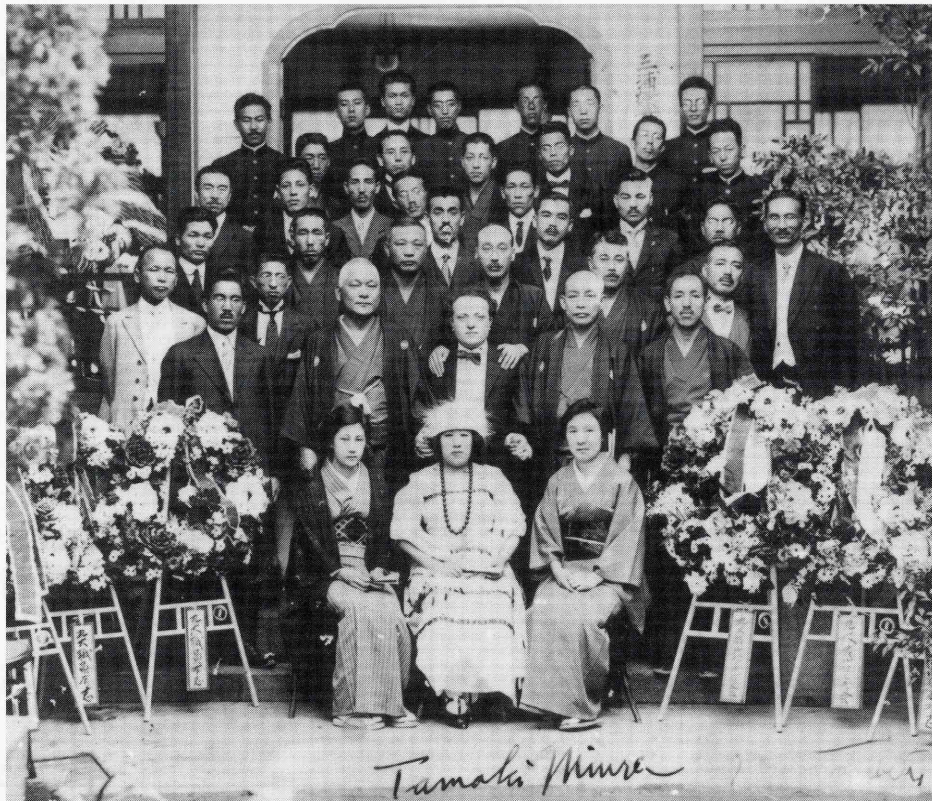
九州大学 大学文書館ニュース

第26号

2005. 12. 20

目次

九州大学大学文書館について…………… 2	九州大学大学文書館名簿…………… 4
九州大学大学文書館設置経緯…………… 3	受贈図書一覧…………… 4
九州大学大学文書館委員会名簿…………… 4	大学史料室・大学文書館日誌抄録…………… 6



「三浦環女史大演奏会」記念写真（1923年6月3日。於大博劇場）

わが国最古のアマチュア・オーケストラの一つとして知られる九大フィルハーモニーオーケストラは、京都帝国大学福岡医科大学時代のフィルハーモニー会から始まった。同会は、1911（明治44）年に九州帝国大学が成立すると、九大フィルハーモニー会となり、以後、毎年のように演奏会を開いた。写真は、1923（大正12）年6月、「蝶々夫人」で有名な三浦環（前列中央）の演奏会を主催した時のものである。写真には、8年ぶりに一時帰国した国際的オペラ歌手三浦の演奏会に相応しく、福岡の知名人の顔も見える。安河内麻吉知事（三浦の真後ろの伴奏者フランケッティの左）、久世庸夫福岡市長（フランケッティの右）、中野正剛（久世の右）、榊保三郎（フランケッティの後ろ。九大フィルの創設者で九大精神病学教授）、板垣政参（久世の右斜後ろ。九大生理学教授）、久世市長夫人（三浦の左）。

九州大学大学文書館について

大学文書館長 有川 節夫

本年4月、これまでの大学史料室を基にして大学文書館が設置されました。「九州大学に関わる法人文書等の資料を収集、整理、保存し、大学及び大学の歴史に関する調査研究を行うとともに、その資料を学生、職員その他一般の利用に供すること」を目的とした機関です。発足してからまだ数ヶ月しか経っておりませんが、大学文書館の組織と活動についてご報告いたします。

まず組織から説明しますと、下図のようになっております。従来は大学史料室1室の体制でしたが、大学文書館は法人文書資料室と大学史資料室の2室体制です。広島大学文書館等の事例を参考にしたもので、それぞれの資料室には室長が置かれ、法人文書資料室長には事務局総務課長（兼任）が、大学史資料室長には大学文書館専任教員が就いています。

それから大学文書館では兼任教職員制度を採用しました。大学史料室でも兼任教員制度が採られていましたが、今回は教員のほかに事務職員の兼任を置き、事務局の総務課長、法令審議室長等が新たに兼任の職員となりました。これは上記の法人文書資料室長（兼任）とともに、事務局、特に総務課との連携をより強化したものであります。

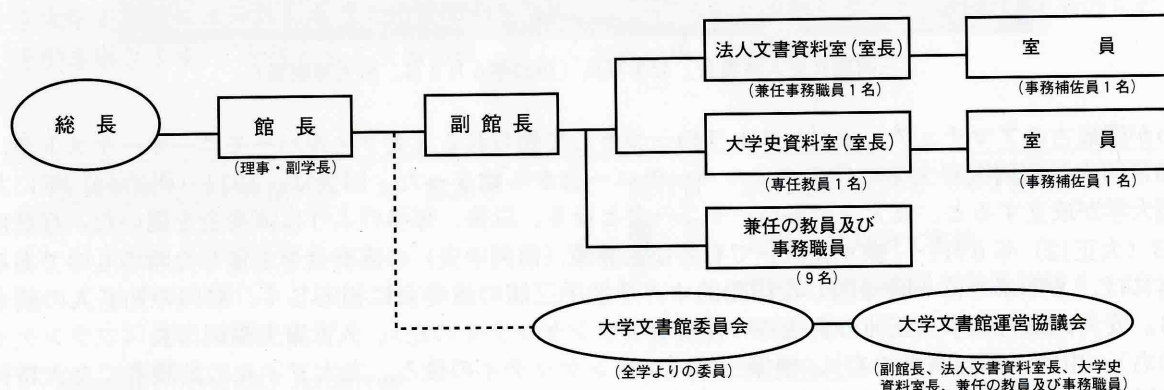
大学文書館に関係する委員会としては、大学文書館委員会（下図参照）を設置しました。館長、副館長、附属図書館長、総合研究博物館長、事務局総務部長、附属図書館事務部長、各キャンパスから選出された先生方で構成され、文書館の重要事項を審議する委員会です。具体的には、大学文書館の「業務」が「①資料の収集、整理及び保存に関すること、②資料の調査・研究に関すること、

③資料の活用に関すること、④その他大学資料に関すること」（以上、九州大学大学文書館規則）にありますので、これらの点について審議しますが、予算案や人事案件についての審議も行います。

大学文書館の人員は、館長1名（理事・副学長の兼任）、副館長1名（館長の推薦による教授の兼任）、専任教員の教授1名です。専任教員の教授は、それまでの助教授を振り替えて新たに設けられたもので、わが国の大学文書館では初めてのポストです。このほか事務職員1名、事務補佐員2名の任用が認められていますが、少人数のため上述のように兼任職員制度を採用し、共同研究や日常の業務に当たっております。

次に大学文書館の主な活動について、①資料の収集・整理・保存・活用、②調査・研究、③教育、④その他、に分けて説明しますと、先ず①の資料は事務文書（法人文書）が中心となりますが、大学関係者の私文書や諸印刷物、モノ・写真・映像資料等の収集も行っています。本年度は新キャンパスへの移転を開始した工学部関係の文書や、事務倉庫の整理に伴う農学部関係の文書等、大量の文書の移管を受けました。今後はこれらの文書の整理を進め、保存と廃棄の区分けをして行く必要があります。多数の看板（標札）を受領したのも本年度の大きな特徴です。このほか、大学史料室時代から行ってきました、いわゆるオーラルヒストリーや、『九州大学「伊都キャンパス」記録プロジェクト』を実施して、資料の収集に努めています。

②の調査・研究活動は、主に九州大学史を中心とした大学史研究と、資料の収集・整理・保存・



活用に関する研究を行ってきました。大学史料室以来8つの共同研究を組織し、本年11月からは福岡市からの受託研究「九州大学箱崎キャンパス内歴史的資源の現況調査」も実施する予定です。

③の教育活動につきましては、いわゆる自校(史)教育活動を積極的に展開しています。1997(平成9)年度から始めた全学教育科目「九州大学の歴史」は、国立大学では最初の試みです。2002年には教科書『大学とはなにか—九州大学に学ぶ人々へ—』を出版し、現在はこれらの活動を踏まえて「大学とはなにか—九州大学を通じて考える—」を開講しております。また本年度から新たに開始された「新キャンパスを科学する」(代表坂井猛新キャンパス計画推進室助教授)の授業にも積極的に参加しているところです。

④その他の活動では、広義の広報活動のほか、事務部局、マスコミ、研究者、その他に対する情報提供を行っていますが、最近では大学院生等の論文作成のための利用が増え、また市民の方のキャンパス見学もなされるようになりました。これらにつきましては、専任教員や副館長を中心にレファレンス・案内・説明等の業務を行っています。

なお、大学文書館(大学史料室)の場合、写真・モノ資料等の展示は、主に場所(展示会場)の関係でこれまでほとんど実施してきませんでした。しかし、今年の3月には「旧制福岡高等学校展」(於九州大学西新プラザ)を開き、また9月~10月にかけては「九大の歴史をたどる写真展」を箱崎キャンパスと伊都キャンパスで開催しました。「九大の歴史をたどる写真展」は「九州大学伊都キャンパス誕生年2005」の一環として行われたもので、期間中多くの参観者があり、記念のDVD「九



上：九大の歴史をたどる写真展(於ビッグオレンジ)

右：九州大学の歩み—創設から伊都キャンパス誕生まで—(DVD)



州大学の歩み—創設から伊都キャンパス誕生まで—」も制作しました。

法人化後、九州大学では新キャンパスへの移転が始まり、また創立100周年も近づいてきました。このような状況の中、大学文書館の役割は益々重要なものとなっています。初めにも述べましたように九州大学大学文書館の活動は始まったばかりですが、幸い本学のアーカイブセクションには、大学史料室以来の歴史があります。今後はこの経験を活かしながら、新たな活動を展開して行かなければなりません。皆様のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

(理事・副学長)

九州大学大学文書館設置経緯

平成4(1992)年1月24日
九州大学史料収集・保存に関する委員会規則制定。
平成4(1992)年12月11日
九州大学大学史料室設置。
九州大学大学史料室規則制定。
平成13(2001)年6月27日
九州大学文書館設置準備委員会設置、第1回準備委員会。
平成13(2001)年12月28日
第2回九州大学文書館設置準備委員会。

平成14(2002)年3月20日
第3回九州大学文書館設置準備委員会。
平成14(2002)年4月1日
九州大学情報公開委員会規則制定(九州大学史料収集・保存に関する委員会規則廃止)。
九州大学大学史料室規則(改正)制定。
副学長、史料収集・保存に関する委員会委員長及び大学史料室長に就任。
平成15(2003)年4月14日
第4回九州大学文書館設置準備委員会。
平成15(2003)年7月4日

第5回九州大学文書館設置準備委員会。
平成15(2003)年9月30日
第6回九州大学文書館設置準備委員会。
平成15(2003)年11月27日
第7回九州大学文書館設置準備委員会。
平成16(2004)年3月11日
第8回九州大学文書館設置準備委員会、最終「報告」。
平成16(2004)年4月1日
九州大学大学史料室規則(改正)制定。
平成16(2004)年6月14日
第1回記録資料館・大学史料室検討会。
平成16(2004)年12月20日
第2回記録資料館・大学史料室検討会。
平成17(2005)年1月27日

第34回九州大学史料収集・保存に関する委員会、
大学文書館設置計画了承。
平成17(2005)年2月9日
第12回企画専門委員会、大学文書館設置計画了承。
平成17(2005)年2月15日
第10回将来計画委員会、大学文書館設置計画了承。
平成17(2005)年3月9日
第3回記録資料館・大学史料室検討会。
平成17(2005)年4月1日
九州大学大学文書館発足。
九州大学大学文書館規則制定(九州大学大学史料室規則廃止)。

九州大学大学文書館委員会名簿

委員長	理事	副学長	有川 節夫	委員	言文院教授	高橋 勤
副委員長	人環院	教授	新谷 恭明	〃	先導研助教授	本山 幸弘
委員	人文院	助教授	山口 輝臣	〃	健七教授	橋本 公雄
〃	農 院	教授	江頭 和彦	〃	アイソ教授	大崎 進
〃	情基セ	教授	藤野 清次	〃	博物館館長	村江 達士
〃	芸工院	助教授	北村 賢介	〃	総務部部長	大槻 秀明
〃	医 院	教授	吉田 眞一	〃	図書館部長	濱崎 修一
〃	歯 院	教授	前田 勝正			(2005年11月15日現在)
〃	比文院	教授	有馬 學			

九州大学大学文書館名簿

館 長	理事	副学長	有川 節夫	兼任事務職員	総務課長	塩田 剛志
副館長	人環院	教授	新谷 恭明	〃	法令審議室長	百崎 義隆
専任教員		教授	折田 悦郎	〃	総務第二係長	森永 泰弘
兼任教員	人文院	教授	佐伯 弘次	事務職員		北島 一孝
〃	法 院	教授	植田 信廣	事務補佐員		松尾 陳代
〃	法 院	教授	熊野 直樹	〃		筑紫 啓子
〃	経 院	教授	荻野 喜弘			(2005年11月15日現在)
〃	比文院	教授	有馬 學			

受贈図書一覧 (2004年7月~2005年6月)

九大地質学教室のあゆみ	名和田新教授退官記念誌	
九州大学理学部地質学教室創立60周年記念誌刊	名和田新教授退官記念事業会	2005. 3
行会	会報 46~47	
1999. 4		

- 九州大学文学部同窓会 2003. 3～2004. 3
九州大学法学部同窓会会報 第7号～第29号
九州大学法学部同窓会 1982. 9～2004. 9
九州大学法学部東京同窓会会報 第1号～第8号
九州大学法学部東京同窓会 1998. 11～2004. 10
能古 第1号～第43号
九州大学理学部地球惑星科学教室内能古会
1957. 3～2004. 12
- 池田恵一教授退官記念誌
池田恵一教授退官記念事業会 1989. 12
九大小児外科医局年報 創刊号～第2号
九州大学医学部附属病院小児外科
1978. 6～1979. 5
九大小児外科記念会誌 第三号～第十一号
九州大学医学部小児外科学講座
1980. 8～1988. 4
- 九州大学歯学部同窓会会報 第17号～第21号
九州大学歯学部同窓会 2000. 6～2004. 6
九州大学農学部畜産学科50年史
九州大学大学院農学研究「博畜会」編集委員会
2001. 10
同窓会報 第11号～第12号、第15号、第17号～
第38号
九州大学農学部同窓会
1960. 3～1961. 12、1965. 12、1967. 12～2003.
11
親和会々報 創刊号～第2号、第5号～第24号
九州大学親和会
1981. 1～1982. 1、1985. 1～2004. 1
- 壬子会写真誌六十周年記念
壬子会 1973. 7
壬子会写真誌八十周年記念
壬子会 1994. 1
九州大学壬子会90周年記念事業
壬子会 2002. 10
壬子会だより Vol. 10～Vol. 16、Vol. 19～Vol. 20
壬子会 1996. 7～2000. 7、2003. 7～2004. 7
- 九航会会誌 第26号～第28号
九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門内
九航会 2002. 11～2004. 11
九州大学男声合唱団コールアカデミー創立50周年
記念誌
九州大学男声合唱団コールアカデミー0B会
2004. 12
- 展望 第二号、第五号、第七号～第十四号
九州大学学友会展望編集部
1957. 12、1960. 5、1962. 4～1973. 4
- 展望・伝習館処分特集号
九州大学展望編集部 1970. 9
反大学論と大学史研究—中野実の足跡—
中野実研究会 2005. 5
緑丘アーカイブズ 創刊号
小樽商科大学百年史編纂室 2005. 3
小樽高商の人々
小樽高商史研究会 2002. 3
東京大学史史料室所蔵大学関係沿革史誌目録
東京大学史史料室 2004. 3
東京大学史史料室ニュース 第33号～第34号
東京大学史史料室 2004. 11～2005. 3
金沢大学資料館だより No. 24～No. 25
金沢大学資料館 2004. 11～2005. 2
京都大学大学文書館研究紀要 第3号
京都大学大学文書館 2005. 3
京都大学大学文書館だより 第8号
京都大学大学文書館 2005. 4
駒大史ブックレット 思い出の駒大地歴 別冊1
駒澤大学禅文化歴史博物館大学史資料室
2004. 6
駒大ブックレット3 「宣教部日誌」にみる大正
期の駒大生 その2
駒澤大学禅文化歴史博物館大学史資料室
2004. 12
- 近代日本研究 第二十一巻
慶應義塾福沢研究センター 2005. 3
校史 Vol. 16
國學院大學校史資料課 2005. 2
拓殖大学百年史研究 16号
拓殖大学創立百年史編纂室 2005. 3
成瀬記念館 No. 19
日本女子大学成瀬記念館 2005. 3
写真が語る日本女子大学の100年 そして21世紀
をひらく
日本女子大学 2005. 3
武蔵工業大学75年史
武蔵工業大学75年史編さん部会 2005. 3
大学史紀要 尾佐竹猛研究I 第九号
明治大学史資料センター 2005. 3
立教学院史研究 第3号
立教大学立教学院史資料センター 2005. 3
関東学院学院史資料室ニューズ・レター No. 5
関東学院学院史資料室 2004. 11
名古屋外国語専門学校史料集
南山学園創立75周年記念誌編纂委員会
2005. 4

皇學館大学所蔵 大学史目録
 皇學館館史編纂室 2005. 3
 佛教大学報 第54号
 佛教大学 2004. 10
 立命館百年史紀要 第十三号
 立命館百年史編纂室 2005. 3
 大学基準協会五十五年史 通史編
 大学基準協会年史編さん室 2005. 4
 大学基準協会五十五年史 資料編
 大学基準協会年史編さん室 2005. 4
 北の丸一国立公文書館報一 第37号
 国立公文書館 2004. 10
 アーカイブズ 第18号～第19号
 国立公文書館 2005. 3
 大学アーカイブズ No. 31～No. 32
 全国大学史資料協議会東日本部会
 2004. 10～2005. 3
 全国大学史資料協議会西日本部会会報 No. 17～
 No. 18

全国大学史資料協議会西日本部会
 2004. 12～2005. 5
 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報
 No. 7、No. 24～No. 62
 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
 1982. 8、1992. 3～2003. 2
 野間研だより No. 16～No. 17
 野間教育研究所 2004. 10～2005. 2
 DJIレポート No. 58～No. 60
 国際資料研究所 2004. 8～2004. 12
 記念館だより 第34号～第35号
 旧制高等学校記念館・旧制高等学校記念館友の
 会 2004. 10～2005. 3
 菊葉 旧制佐賀高等学校 第四十三号
 菊葉同窓会本部 2004. 11

* 大学史・高等教育史、アーカイブ関係図書を中心に受贈
 図書の一部を掲載した。

大学史料室・大学文書館日誌抄録 (2005年1月～2005年10月)

- | | |
|--|--|
| <p>1. 27 (木) 第34回九州大学史料収集・保存に関する委員会開催。</p> <p>1. 31 (月) 折田助教授、「大学所蔵の歴史的資料の蓄積・保存ならびに公開に関する研究」研究会にて報告(『「自校史」教育と大学アーカイブ』。於名古屋大学大学文書資料室)。</p> <p>2. 9 (水) 第12回企画専門委員会、大学文書館設置計画了承。
 旧制福岡高等学校同窓会青陵会より資料寄贈。
 川添昭二名誉教授(九州大学五十年史執筆者)にオーラルヒストリーを実施(第2回。有馬學教授、折田助教授)。</p> <p>2. 10 (木) 東京大学名誉教授より京都帝国大学福岡医科大学初代学長大森治豊関係資料の件につき照会、回答。</p> <p>2. 14 (月) 釜山大学校教授、大学史料室視察のため来室。
 大学院人間環境学研究院助教授、資料調査のため来室。</p> <p>2. 15 (火) 第10回将来計画委員会、大学文書館設置計画了承。</p> | <p>2. 22 (火) 渡辺浩志理事、大学史料室視察のため来室。</p> <p>2. 23 (水) 西日本新聞記者、取材のため来室(旧制福岡高等学校展の件)。</p> <p>2. 28 (月) 塩川郁夫氏(元本学技官)来室、資料寄贈(3月24日、6月24日も同様)。</p> <p>3. 1 (火) 大学院理学研究院よりアインシュタイン来学関係資料の件につき照会、回答。</p> <p>3. 2 (水) 九州産業大学教授より旧法文学部関係資料の件につき照会、回答。</p> <p>3. 10 (木) 大手前大学教授より郭沫若関係資料の件につき照会、回答。</p> <p>3. 14 (月) 「旧制福岡高等学校展」開催(～21日。於九州大学西新プラザ)。</p> <p>3. 15 (火) 日本大学教授、大学史料室視察のため来室。</p> <p>3. 18 (金) 大学院工学研究院材料工学部門より資料寄贈。
 明治大学講師、大学史料室視察のため来室。</p> <p>3. 24 (木) 東北大学史料館より大学文書館設置の件につき照会、回答。</p> <p>3. 25 (金) 杉岡洋一前総長来室、資料寄贈。</p> |
|--|--|

3. 28 (月) 有馬學大学院比較社会文化研究院教授来室、資料寄贈。
廣川昭二大学院芸術工学研究院教授より資料寄贈。
3. 29 (火) 東京大学助教授、大学史料室視察のため来室。
3. 31 (木) 島田允堯大学院理学研究院教授来室、資料寄贈。
『九州大学大学史料叢書』第13輯、
『九州大学大学史料室ニュース』第25号刊行。『九州大学「記憶の保存」プロジェクト』CD (ビデオ版)、
同 (写真版) 制作。
4. 1 (金) 九州大学大学文書館発足。
4. 5 (火) 大学院医学研究院助教授、資料調査のため来館。
4. 6 (水) 新キャンパス名称審査会開催 (折田助教授出席)。
4. 7 (木) 熊野直樹教授、独イェーナ大学文書館長、大学文書館視察のため来館。
4. 8 (金) 総務部総務課より資料受領。
4. 13 (水) 第1回九州大学大学文書館委員会開催。
2005年度「大学とはなにか—九州大学を通じて考える—」(個別教養科目) 開講。
経済学部学生、資料調査のため来館 (4月26日、28日、5月12日、17日も同様)。
4. 15 (金) 九州大学医学部同窓会史料・史跡保存委員会開催 (折田助教授出席)。
4. 19 (火) 総務部総務課広報係より九州大学生歌の件につき照会、回答。
古賀利郎名誉教授より資料寄贈。
4. 21 (木) 角田肇氏 (法学部卒業生) 来館、資料寄贈。
4. 22 (金) 九州帝国大学農学部卒業生遺族、資料調査のため来館。
4. 25 (月) 福岡教育大学大学院生、資料調査のため来館 (4月28日、5月19日、6月23日も同様)。
4. 26 (火) 平成17年度大学文書館予算要求書提出。
4. 27 (水) 留学生課より資料受領。
4. 28 (木) 山口英一有明工業高等専門学校助教授 (九大コールアカデミー会OB) 来館、資料寄贈 (6月16日も同様)。
5. 2 (月) 第2回大学文書館委員会開催。
5. 6 (金) 小泉直彦氏 (工学部卒業生) より資料寄贈。
5. 9 (月) 中山宏明名誉教授、資料調査のため来館、資料寄贈 (6月23日、24日、7月15日、21日、9月20日、30日、10月14日も同様)。
九州工業大学100年史編集事務局より資料調査のため来館。
5. 10 (火) 伊都キャンパス開校記念事業プロジェクトチーム会議 (折田助教授出席)。
5. 11 (水) 折田助教授、「新キャンパスを科学する」(個別教養科目) の一環として「九州大学史と新キャンパス」を講義。
5. 17 (火) 二見剛士志學館大学名誉教授来館、資料寄贈。
福岡西方沖地震被害修復工事 (営繕関係)。
5. 25 (水) 工学部等事務部、大学院工学研究院応用化学部門より資料受領。
5. 28 (土) 九州大学医学部同窓会史料・史跡保存委員会写真選定会議 (於大学文書館)。
5. 30 (月) テニス部学生、資料調査のため来館 (6月6日、13日、7月29日も同様)。
6. 7 (火) 大学院人間環境学研究院助教授、資料調査のため来館。
6. 8 (水) 梶山千里総長より資料寄贈。
6. 17 (金) 糸井龍一大学院工学研究院教授より資料寄贈。
6. 20 (月) 池水喜義特殊廃液処理施設助教授より資料寄贈。
大学文書館耐震補強工事。
6. 22 (水) 九州大学女子卒業生の会 (松の実会) より資料調査のため来館。
6. 23 (木) 福岡日中文化センターより郭沫若関係資料の件につき照会、回答。
6. 24 (金) 下田守下関市立大学教授、資料調査のため来館、資料寄贈。
6. 28 (火) 第3回大学文書館委員会開催。
7. 4 (月) 大学院工学研究院応用化学部門図書室より資料受領 (7月11日、9月1日、8日も同様)。
7. 6 (水) 中国広東電視台より取材のため来館 (郭沫若の件)、折田助教授学内案内。

7. 8 (金) 貝塚地区事務部より資料受領。
 附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門より資料受領(9月13日も同様)。
7. 14 (木) 山田秀九州産業大学助教授より資料寄贈。
7. 20 (水) 西日本新聞記者、取材のため来館
 (郭沫若の件、8月26日、29日も同様)。
7. 26 (火) 折田助教授、神戸大学百年史編集室研究会にて報告(『大学文書館の設置と「自校史」教育』。於神戸大学附属図書館)。
7. 29 (金) 久留米大学より大学文書館視察のため来館。
8. 1 (月) 大学院工学研究院地球資源システム工学部門より資料移管(8月30日、9月8日も同様)。
 大学院工学研究院航空宇宙工学部門より資料受領(8月30日も同様)。
8. 17 (水) 柴田洋三郎理事・副学長より資料寄贈。
8. 18 (木) 大学院工学研究院長室より資料受領。
8. 23 (火) 国士舘大学より大学文書館視察のため来館。
8. 24 (水) 工学部等事務部より資料受領。
8. 29 (月) 福岡市都市整備局大学移転対策部より来館(「箱崎キャンパス内歴史的資源の現況調査」の件、9月7日、27日も同様)。
8. 30 (火) 農学部事務部より資料移管(～31日)。
 大学院工学研究院機械科学部門より資料受領。
9. 9 (金) 『九州大学の歩み—創設から伊都キャンパス誕生まで—』(DVD)制作。
9. 13 (火) 九大・学研都市フェアの一環として、『九州大学の歩み—創設から伊都キャンパス誕生まで—』(DVD)上映(～19日。於西鉄ソラリアプラザ)。
9. 20 (火) 西日本新聞記者、取材のため来館
 (10月4日も同様)。
 大学院人文科学研究院助教授、資料調査のため来館(9月21日も同様)。
9. 21 (水) 大東文化大学教授、大学文書館視察のため来館。
9. 26 (月) 福留久大名誉教授より資料寄贈。
9. 27 (火) 「九大の歴史をたどる写真展」開催(～30日。於九州大学創立五十周年記念講堂)。
 読売新聞記者、取材のため来館。
10. 1 (土) 折田助教授、教授昇進。
10. 15 (土) パネル展示in伊都キャンパスの一環として、「九大の歴史をたどる写真展」開催(～23日。於ビッグオレンジ)。

— 後 記 —

九州大学大学史料室は本年度より九州大学大学文書館となりました。それにともない『九州大学大学史料室ニュース』も『九州大学大学文書館ニュース』と改称しました(号数は従来ものを引き継ぎます)。今後ともご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

九州大学大学文書館ニュース 第26号

発行日 2005年12月20日(年2回刊)

編集
 発行

九州大学大学文書館

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

電話・FAX (092) 642-2292

Kyushu University Archives

印刷 株式会社ミドリ印刷